

第2部課程第168期 (平成25年11月22日～12月13日)

課目名	地方税財政制度
時限数	9時限
担当講師	<p>一橋大学教授 木村 俊介 <プロフィール> 昭和61年東京大学法学部卒業。 同年旧自治省入省。米国コーネル大学法律学大学院留学、岐阜県財政課長、総務省公営企業課理事官、財政制度調整官、松山市助役、総務省財政課参事官等を経て、平成25年4月から現職。</p>
ねらい	<p>地方税財政制度は地方公共団体の行政活動の基盤をなすものであり、社会経済情勢の変化を踏まえ、システムが年々変化している。本講義では、現行の地方税財政制度の仕組みを解説するとともに、その運営をめぐる直近の主要課題について正しく理解することをねらいとする。また、地方財政制度に関連し、公会計改革、ファシリティマネジメント、PFI、ネーミングライツ等の新たな手法について、公有資産改革として扱うこととする。さらに、地方分権や政権交代など大きな社会の変化が地方財政に与えた影響について分析を行う。</p>
講義概要	<p>地方税財政の基本法である地方財政法、地方交付税法、地方税法等を中心に、近時の財政資料等を踏まえながら、地方税財政制度の動向を概観し、併せて地方税財政制度の問題点、改革改善の方向等について解説する。地方税財政に直接関係のある職務に従事した経験のない者にも理解しやすいように講義する。</p> <p>概ね次のような流れで講義を進める。</p> <p>第1回 国・地方の財政を取り巻く諸課題、地方財政が国内行政に果たす役割、地方財政計画</p> <p>第2回 地方交付税の仕組みと展開(財源保障と財政調整)、 地方債の仕組みと展開(市場と対峙する地方団体)</p> <p>第3回 財政健全化、地方税の仕組みと展開</p> <p>第4回 公有資産改革、地方分権と地方財政など</p>
受講上の注意	
使用教材	<p>Basic 地方財政論 補足教材(講義前に配布)</p>
効果測定	筆記試験による
その他 (他の課目との関連)	